

2-6 幕府の政治と人々の暮らし 江戸幕府と大名

📖 P140~P141

名前

6年 組 番

①【ねらい】江戸幕府の大名の配置の特徴を考える。

②【基本】教科書の📖の資料を見てみよう。

- ・題を読もう。
- ・「親藩」「譜代」「外様」の意味を教科書から探そう。
- ・「万石」とは何か。

③【ポイント】📖の資料を読み取ろう。

- ・親藩や譜代大名はどこに配置されているだろうか。

- ・江戸，名古屋，京都，大阪の近くといった大事な土地に多い。
- ・幕府が直接治めた主な場所の周りは親藩や譜代大名が多い。
- ・地方にも配置されている。外様大名を見張るためかもしれない。

- ・外様大名はどこに配置されているだろうか。

- ・九州・中国・四国・東北など江戸から遠いところに多く配置されている。
- ・参勤交代の時に費用がかかりそうな場所に多い。
- ・勢力が強そうな外様大名（伊達，前田，細川，島津）は江戸から離れている。

❗ ④幕府が，そのような大名配置にしたのはなぜだろうか。

・重要な場所は親藩や譜代大名を配置して力が及ぶようにした。外様大名は遠い場所に配置し，力を弱めようとした。

・幕府にとって都合のよい配置をして，幕府を安定させようとした。

- ・その他にどのような支配をしたのだろうか。教科書から探してみよう。

・武家諸法度というきまりを定めた。 ・江戸城の修理や土木工事を命じた。

・参勤交代の制度を作り，大名の妻や子どもを人質にした。

⑤幕府の大名支配についてノートにまとめよう。自分の考えも書こう。